

# いはち

日立市教育研究所報 285号

平成30年4月17日発行

〒317-8601 日立市助川町1-1-1

日立市教育研究所長 勝間田 忠彦

## ぬくもりと愛情の心で

所長 勝間田 忠彦

日立市教育研究所の歴史は古く、昭和44年、大雄院小学校内に開設されました。当時は所長の他、専任研究主事3名の計4名が配置されました。昭和54年の大雄院小学校閉校により、会瀬小学校に移転しています。さらにその2年後に多賀図書館に移転しました。

この頃から、学校訪問を開始し、裏方で学校を支える役割を果たすようになりました。平成5年には当時多賀図書館に隣接していた勤労青少年ホームにて「適応指導教室ちゃれんじくらぶ」を開設し、主に不登校である児童生徒の学校復帰、将来への自立支援を主たる目的として運営を始めました。現在は多賀図書館内で運営しています。

昨年度、「ちゃれんじくらぶ」は体験入学の子どもを含め計15名の子どもたちと関わり、支援を行いました。

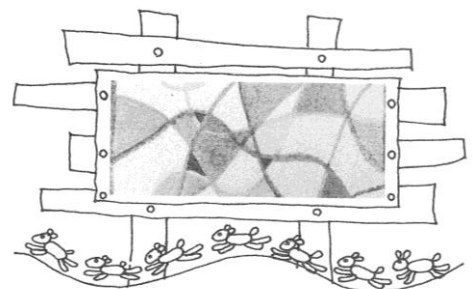
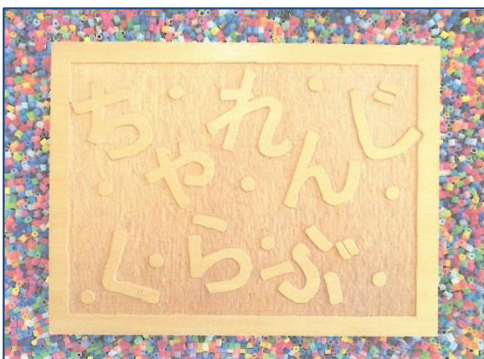
多賀教室は主に日立市南部の学校に在籍する子どもが多く通級しました。反面、北部地区の学校に在籍する子どもたちが地理的に通級しにくい現状がありました。

このことを解消するために、教育委員会の本庁移転に伴い、教育プラザ内に適応指導教室日立教室を開設しました。今年度から受入れを始めます。

通級する子どもたちと接してみて感じたことは、彼らなりに、将来の夢をしっかりとっており、また、友達同士の関係も円満でした。気さくで素直で人なつこい子どもたちでした。彼らは、学校ではそれが表現できにくかっただけなのでしょう。

支援を行って得たキーワードがあります。「ぬくもりと愛情の心で接すること」支援者と子どもたちが温かい心で結ばれた感じがしました。

ちゃれんじ卒業生のこれからの頑張りに心から期待しているとともに、これからも二つのキーワードを心に置いて最大限の支援を行っていきたいと思います。



ちゃれんじくらぶ生徒作品

# 平成 30 年度の主な事業内容

## 1 調査研究に関する事業

- (1) 教育課題解決のための専門的・技術的な調査研究
- (2) 幼児・児童生徒の学習・生活に関する意識や実態についての調査研究
- (3) 幼児・児童生徒理解のための教育的資料の作成や教育情報の収集と提供
- (4) 教育課題調査研究会議の設置
  - ア 調査研究員に委嘱した教職員による今日的な教育課題についての実態調査
  - イ 本市教育の充実・発展を図る調査研究と報告書による学校や保護者への啓発

## 2 教職員の研修に関する事業

- (1) 職層や経験に応じた研修
- (2) 専門性を高める研修
- (3) 特別研修
- (4) 共催研修
  - ※「夏季教職員研修」については、広報誌「りさーち」をご覧ください。  
(6月下旬ごろ発行予定)



[平成 29 年度研修会の様子]

## 3 教育相談に関する事業

- (1) 学校訪問相談
  - ア 面接相談 … 主に不登校や登校しぶりの児童生徒や保護者、教職員との面談
  - イ 家庭訪問 … 不登校や登校しぶりの児童生徒の家庭への訪問
  - ウ 事例検討 … 生徒指導部員会や個別のケース会議への出席
- (2) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の運営 [多賀教室：日立市立多賀図書館 4 階]  
[日立教室：日立市教育プラザ 3 階]
- (3) 不登校対策支援事業
  - ア 体験活動の実施（製作、調理、野外活動、市内遠足等）
  - イ 保護者への支援（教育相談、保護者会等）
  - ウ 不登校に関する研修会（保護者、市民も参加可）の実施

## 4 こども発達相談センターに関する事業

- (1) 所内相談 … センター内の相談室で教育相談員が対応する面接・電話相談
- (2) 巡回訪問 … 保育園・認定こども園・幼稚園に教育相談員が訪問
- (3) 医療相談 … センター内の相談室で小児科等の医師が対応する相談
- (4) 心理検査 … WISC・田中ビネー等の心理検査を実施
- (5) 小集団活動 … 少人数での継続相談（なかよし教室）の実施
- (6) 各種研修会 … 教職員・保育士・保護者・市民対象の発達障害に関する研修会の実施

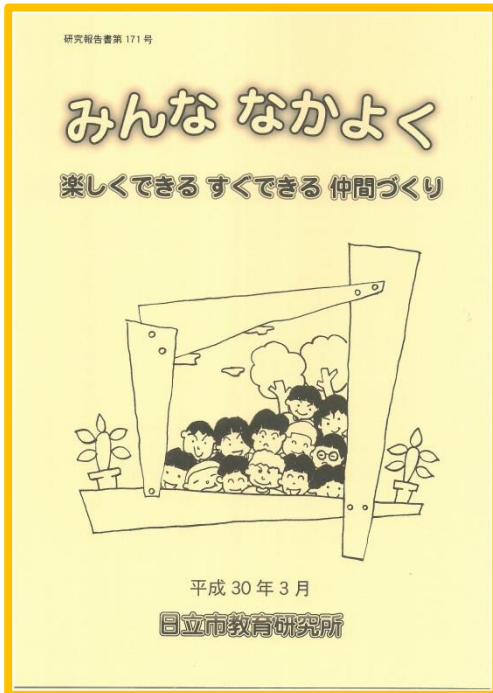
※ 心理検査器具やこれまでの報告書、参考図書等については、貸し出しも行っております。お問い合わせください。



## 5 広報活動

- (1) 広報誌「りさーち」の発行
- (2) ホームページによる情報提供 (<http://www.city.hitachi.lg.jp/kyoken/>)

# 「みんな なかよく」楽しくできる すぐできる 仲間づくり



〈研究報告書表紙〉

この冊子は、「すべての子どもたちが、仲良く楽しい園・学校生活を送ることができるように」とがんばる先生方の応援ブックです。

子どもたちが友だちと良好な人間関係を築く、自分をコントロールして人と関わる、相手の立場に立って考えるなど、これからの社会生活に必要な「人と関わる力」を楽しく身につけることができるようにと願いを込めて作成しました。

よりよい人間関係づくり、仲間づくりのための楽しい活動を、イラストや写真入りで分かりやすく、すぐに使っていただけるように掲載しました。特別支援学級だけでなく、通常の学級でも活用できます。

さらに、適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の案内や相談・支援機関一覧を掲載し、子どもたちの支援に役立つ情報も掲載しています。

是非、手元に置いていただき、円滑な学級経営や生徒指導の機能を生かした授業づくり、学級づくりの一助、そしてすべての子どもたちの笑顔のためにご活用いただければ幸いです。

## 【報告書より】

### 5 積んでみよう 並べてみよう

〈対象〉 幼児・低学年  
 〈指導形態〉 集団行動・仲間関係  
 〈ねらい〉 集団参加（ルール理解）・仲間関係（仲良く活動）  
 〈準備物〉 積みだり並べたりできるもの（ブロックや積み木、段ボール等）

〈活動〉  
 (1) ルールを確認する。  
 ・ブロックは並べたり投げたりしない。  
 (2) 「積んでみよう」（個人で）  
 ・時間を決めてできるだけ高く積み。  
 (3) 「並べてみよう」（友達と一緒に）  
 ・スタートからゴールまでできるだけ速く並べる。  
 ・作戦タイム  
 役割分担をする。  
 どのブロックを使えば、速く並べられるか考える。  
 (4) 「かっこいい家を作ろう」（個人）  
 ・いろいろな積み方や並べ方を工夫してかっこいい家を作る。

「積んでみよう」「並べてみよう」の時間設定や活動の仕方（個人で・友達と・対戦）、作戦タイムの時間設定など、子どもの実態に応じて工夫すると、活動が広がります。

「もっと高くするぞ！」  
 「ぼく、積みよ、ぼくは並べるね、ぼくは並べたいに頑張るよ。」

### 6 ブラック&ホワイト

〈対象〉 幼児・低学年  
 〈指導形態〉 集団行動  
 〈ねらい〉 役割履行（協力）・集団参加（ルール理解）  
 〈準備物〉 巨大オセロ（黒と白の駒）

〈活動〉  
 (1) ルールを確認する。  
 ・巨大オセロをできるだけ多く自分のチームの色にした方の勝ち。  
 (2) ブラック&ホワイトをする。  
 ・巨大オセロを黒白同じ数で取りはめておく。  
 (1) 話し合いでチームを分け、チームの色を決める。  
 (2) 始めの合図で、できるだけ多く巨大オセロを自分のチームの色に変える。  
 (3) 終わりの合図でやめる。  
 (4) 各チームの色巨大オセロを並べて数える。

「ようい、スタート！」  
 「黒は、白にするぞ！」  
 「こうやって並べたらくらべやすい。」

〈実践例 幼児向け〉

(3) 小学校 特別支援学級  
 小学校 自立活動 仲間関係 3-(4)  
 特別支援学級 ー協力し合って活動しようー

活動	教師の支援・活動の様子
1 あいさつをする。 2 本時の学習内容とめあてを確認する。	<b>的当てゲーム</b> ルールの確認 ① 1分間で板の上の人形をいくつか落とせるか、チームで競う。 ② 投げる順番は交代しながら、1人ずつ投げる。 ③ 作戦タイムで順番や交代の仕方などを話し合う。 ④ 2回行い、落とした人形の合計が多いチームの勝ち。 ゲーム中は ・協力して活動したり、助ましたりしている児童を称賛する。
3 「的当てゲーム」 (1) 活動内容を確認する。 ・チームを決める。 ・ルールの確認 ・新聞紙で玉を作る。 (2) 的当てゲームをする。 ・2回行う。	<b>ぶんぶんごま</b> 作り方の確認 ① 牛乳パックの底の中に2つ穴をあける。 ② ペンで模様をつける。 ③ 紐を通してしぼる。
4 「ぶんぶんごま」 (1) ぶんぶんごまを作る。 ・作り方の確認 ・ペンや道具は数が足りないので仲良く使う。 「貸して。」「いいよ。」「もう少し待ってね。」 (2) 友だちと一緒に遊ぶ。	<b>振り振り</b> ・ルールを守れたことや協力できたこと、友だちのよさに気づけたことなどを発表する。
5 活動の振り返りをする。 ・友だちのよかったところを発表する。	 半分に切ったよ、ねら作ろう！ がんばれ！よく、ねらつて！ その色、終わったら貸してね。 分かった。もう少し待ってね。 ペンや道具を少なめにすることで、貸し借りの際のマナースキルが学級にもなります。 ○○さんが、優しく教えてくれたのが、よかったです。
6 あいさつをする。	

○ 実践から ○  
 ・友だちと関わるのが苦手な子どもたちだったが、ペアでの活動を取り入れることで相談した声をかけ合ったりすることができるようになった。  
 ・ぶんぶんごま作りの道具を少なめに用意することで、「貸して。」「いいよ。」などのやり取りができるようになった。  
 ・友だちのよいところを発表する場を設けたところ、友だちに関心をもつようになった。

〈園や学校でやってみた 展開例〉

新任・転任相談員の紹介

今年度の新任相談員と、担当校を変更した相談員の紹介です。

<p>こども発達相談センター</p>	<p>《 大井 志津香 》 4月から「こども発達相談センター」の相談員をさせていただくことになりました。不安の由来所するお子さんや保護者の方の気持ちに寄り添いながら、自信をもって、自分らしく日々の生活を送ることができるようにサポートしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	<p>《 橘内 久美 》 今年度から「こども発達相談センター」の相談員をさせていただくことになりました。悩みを抱える子ども、心配や困り感をもつ保護者の方のお話に耳を傾け、気持ちに寄り添いながら、思いを受け止めていきたいと思っております。微力ではありますが、相談員の方々と協力し合いながら、精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。</p>
<p>学校訪問相談員</p>	<p>《 坂本 真理子 》 今年度より、日高中学区を担当させていただくことになりました。児童生徒の皆さんに寄り添い、保護者の皆さんに寄り添い相談活動をすすめていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	<p>《 塚本 友子 》 今年度より、平沢中学区を担当させていただくことになりました。悩みを抱えている児童生徒の皆さんに寄り添って、その解消や軽減に向けて、微力ながら精一杯努めてまいります。遠慮なく活用して下さるようお願いいたします。</p>
	<p>《 河合 恭子 》 今年度、駒王中学区を担当させていただくことになりました。毎日の生活の中で、悩みや不安をもつ児童生徒のみなさんの話しに耳を傾け、それぞれの思いを受け止めて、一緒に考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	<p>《 兼子 友香 》 今年度より多賀中学区の相談員となりました。子どもたち、保護者の方々の声に耳を傾け、一人一人の思いを受け止め、寄り添い、誰もが安心して生活が送れるように、支援したいと考えています。連携や協力を密にして、不安の解消や軽減に向けて、微力ながら精一杯努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	<p>《 清野 雅代 》 今年度より坂本中学区を担当させていただくことになりました。児童生徒のみなさん、保護者の方々に寄り添い、学校との連携を図って、こどもたちの心の安定のお役に立てたら・・・と思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>適応指導教室</p>	<p>《 澤田 明 》 今年度から開設された「ちゃれんじくらぶ・日立教室」に勤務させていただくことになりました。不登校の児童生徒に寄り添いながら、ふれあいをとおして自立心や適応力を育て、学校生活へ復帰や社会生活への自立を支援していきたいと思っております。通級生が安心できる居場所になるように努力して参りたいと思っております。至らない点も多いと思っておりますが、よろしくお願いいたします。</p>

適応指導教室	<p>《 <sup>すぎもと</sup>杉本 <sup>まりこ</sup>真里子 《</p> <p>本年度より「ちゃれんじくらぶ」に勤務させていただくことになりました。温かい雰囲気子どもたちを迎え、安心して過ごせるような居場所を作ると共に、様々な体験活動を一緒に楽しみたいと思っています。通級生が心のエネルギーを蓄えて、自信をもてるような、一人一人に寄り添った支援を心掛けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
--------	---

## 新任教育研究所職員の紹介

事務局	<p>《 <sup>すすき</sup>鈴木 <sup>りか</sup>里佳 《</p> <p>本年度、日立市立日立特別支援学校から教育研究所に異動してまいりました。主に特別支援に関すること、こども発達相談センターに関することを担当します。未来を担う子どもたちのために、関係機関と連携を図りながらがんばりたいと思います。1日も早く皆様のお力になれるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
-----	---

### 【平成30年度 教育研究所職員】

所 長	勝間田忠彦	係 長	池田 勝
指導主事	中岫由佳	指導主事	鈴木里佳
		係 長	野口純子
		指導主事	中村香里

### 【教育相談員】

#### 《こども発達相談センター》

紺谷けい子（主任）	伊藤恵美子	大井志津香
小澤基子	蒲原百合子	橋内久美



#### 《学校訪問相談》

※ 近隣の小学校にも訪問します。

鈴木由佳里（十王中）	川井葉子（豊浦中）	坂本真理子（日高中）
小川有香（滑川中）	塚本友子（平沢中・中里中）	
河合恭子（駒王中）	柴田紀久子（助川中）	兼子友香（多賀中）
豊田ゆかり（大久保中）	山田知恵子（泉丘中）	牛渡美加（河原子中）
山田加代子（台原中）	清野雅代（坂本中）	磯野清美（久慈中）

#### 《適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」》

吉成 猛	鈴木君枝	《多賀教室》
澤島 明	杉本真里子	《日立教室》

## ✿✿ 編集後記 ✿✿

いよいよ新年度がスタートしました。子どもたちも先生方も新しい出会いと生活にワクワクしていることでしょう。

教育研究所では、今年度も子どもたちが安心して園・学校生活送れるような相談活動や先生方が笑顔になれる研修会などを実施していきたいと考えております。先生方の日々の教育活動の一助になれば幸いです。今年度も教育研究所の事業への御支援、御協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。（中村）